

集合住宅駐輪場防犯カメラ設置

実証実験結果報告書

令和 7 年 11 月



1 実施の背景

江戸川区では区内刑法犯罪の内、約4割を自転車盗難が占めており、コロナ禍が明けた令和4年以降、被害が急増している。特に集合住宅駐輪場での被害が多いことから防犯カメラを設置し、その効果を検証する実験を実施した。

2 実証実験の概要

(1) 実施期間

令和6年4月1日～令和7年3月31日

(2) 実施内容

- ア 区内の集合住宅7か所の駐輪場に計80台の防犯カメラを設置
- イ 設置箇所周辺に「防犯カメラ作動中」ステッカーを掲示

(3) 検証方法

- ア 犯罪発生件数の前年比較
- イ 設置住宅の住民アンケート

3 主な経過

令和5年

- 10月 犯罪発生場所の分析
- 11月 防犯カメラ設置住宅の選定
- 12月 各住宅への設置希望調査及び事前説明
- 3月 設置工事・各住宅へ運用説明

令和6年

- 4月 運用開始（被害状況を毎月調査）
- 8月 住民アンケート実施
- 2月 住民代表者への聞き取り
- 3月 実証実験終了

4 実験結果

(1) 刑法犯罪発生状況（令和5年・令和6年比較）

ア 総件数

4住宅が減少。2住宅が増加。1住宅が増減なし。全体では減少。

イ 自転車盗難件数

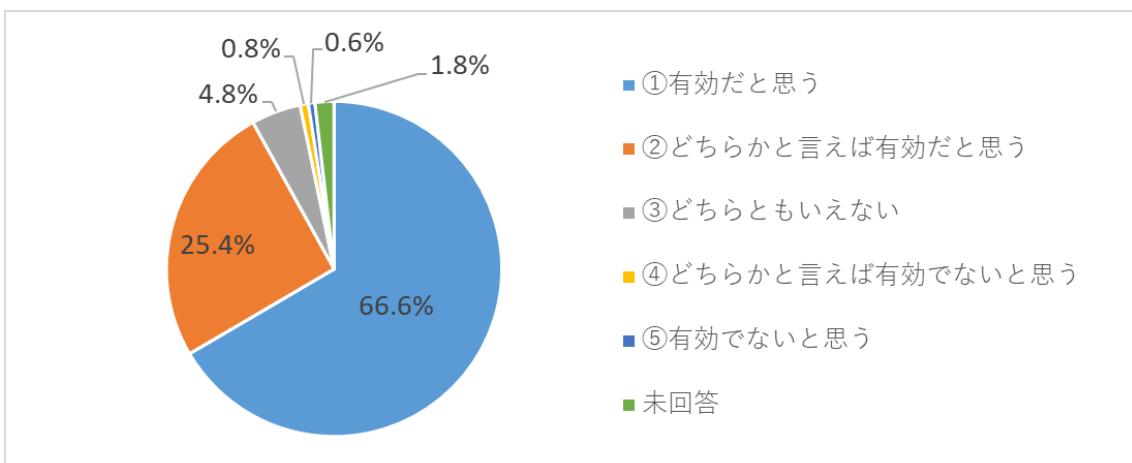
4住宅が減少。2住宅が増加。1住宅が増減なし。全体では減少。

		総件数	自転車盗難件数		
1	A住宅	増減なし	± 0 件	減少	- 1 件
2	B住宅	減少	- 3 件	減少	- 2 件
3	C住宅	増加	+ 2 件	増加	+ 3 件
4	D住宅	増加	+ 1 件	増加	+ 1 件
5	E住宅	減少	- 1 件	減少	- 1 件
6	F住宅	減少	- 1 件	減少	- 1 件
7	G住宅	減少	- 9 件	増減なし	± 0 件
	合計	減少	- 11 件	減少	- 1 件

(2) 住民アンケート

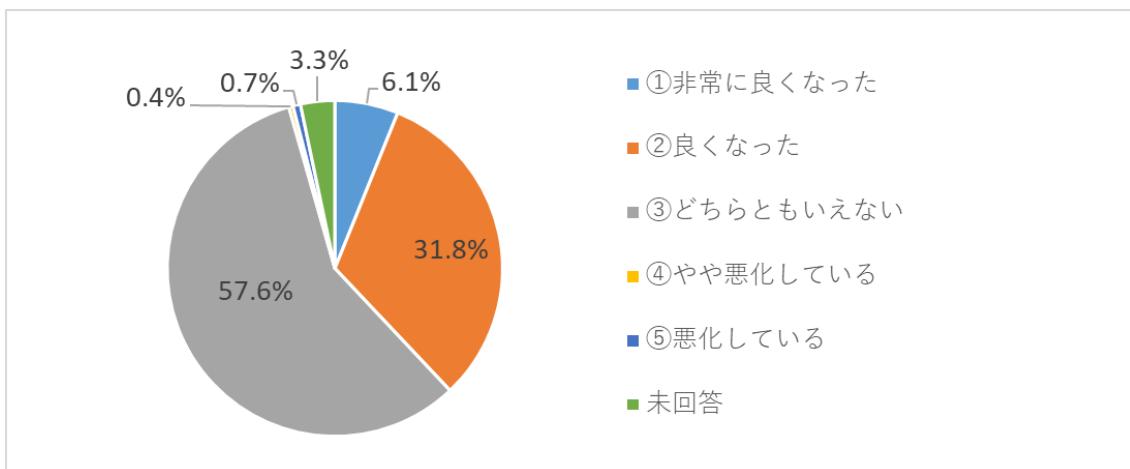
3,252世帯に回答を依頼し、1,252世帯から回答を得た。設問内容と集計結果については次のとおり。

ア 防犯カメラの設置は自転車盗難に効果的であると思いますか。



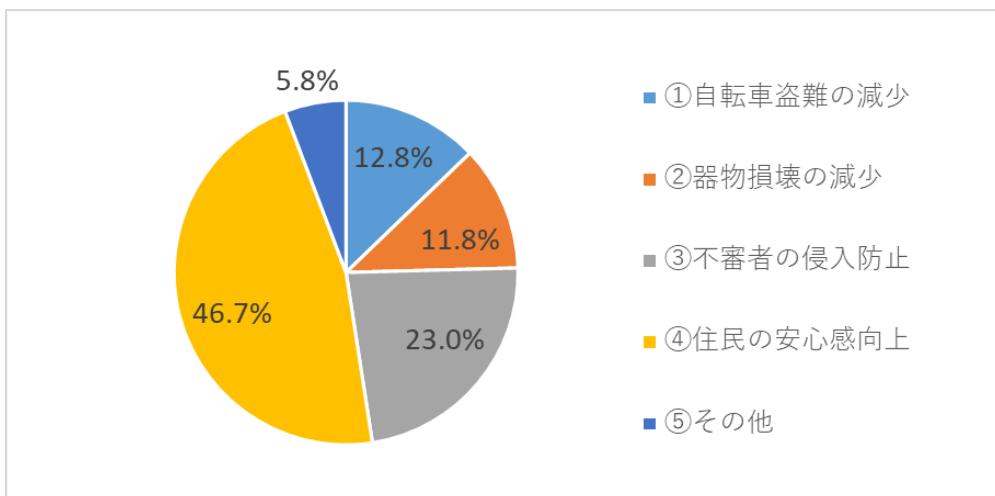
「有効だと思う」、「どちらかと言えば有効だと思う」という回答が9割以上を占め、防犯カメラに対する期待が高いことを示している。

イ 防犯カメラを設置後、住宅の治安についてどのように感じますか。



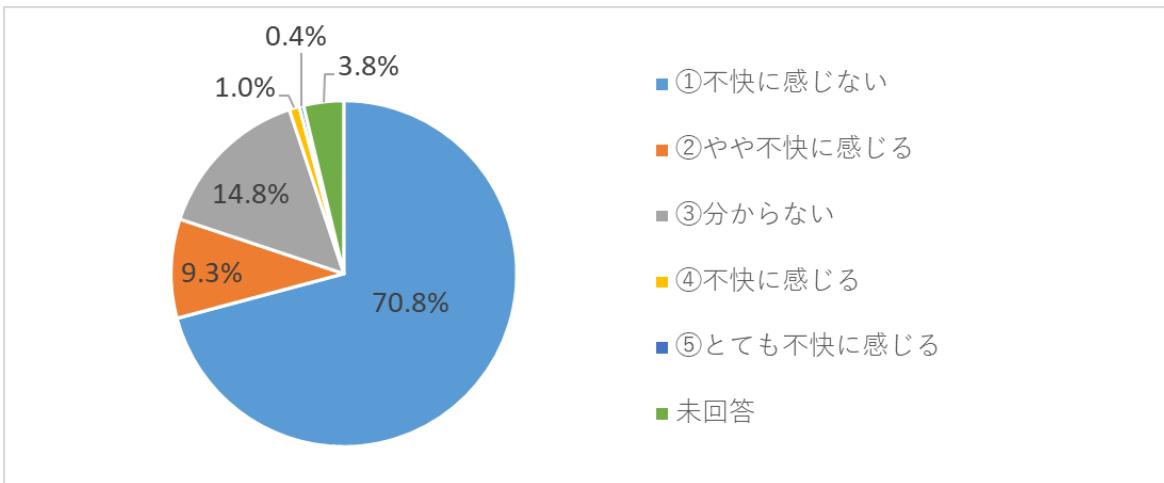
「非常に良くなった」、「良くなった」と回答という回答が4割近くを占め、防犯カメラが有効であることがわかる。

ウ 防犯カメラ設置後の効果を感じた点を教えてください。



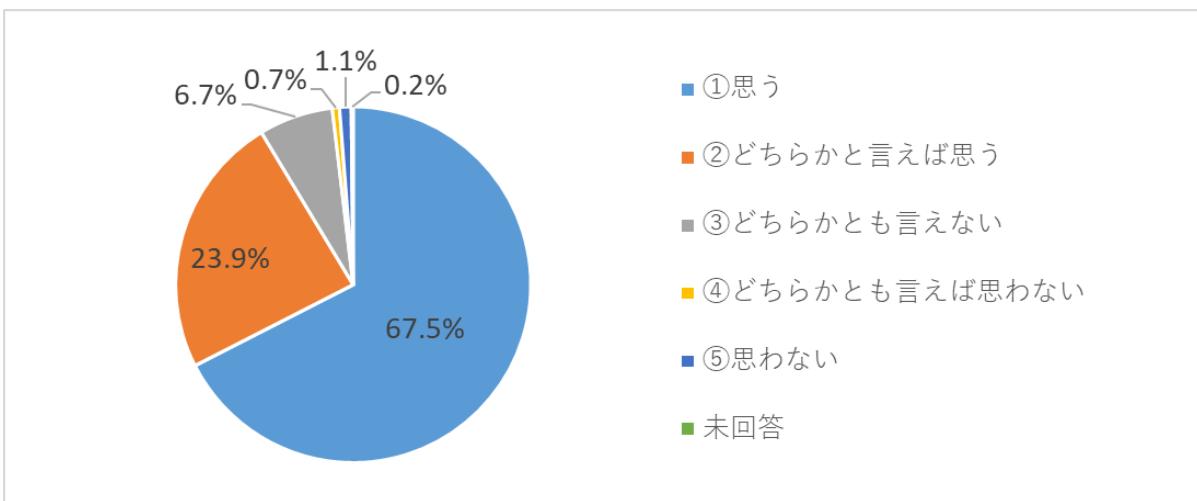
特に「住民の安心感向上」や「不審者の侵入防止」に効果を感じていることがわかる。

エ 防犯カメラに撮影・記録されることに関してどう思いますか。



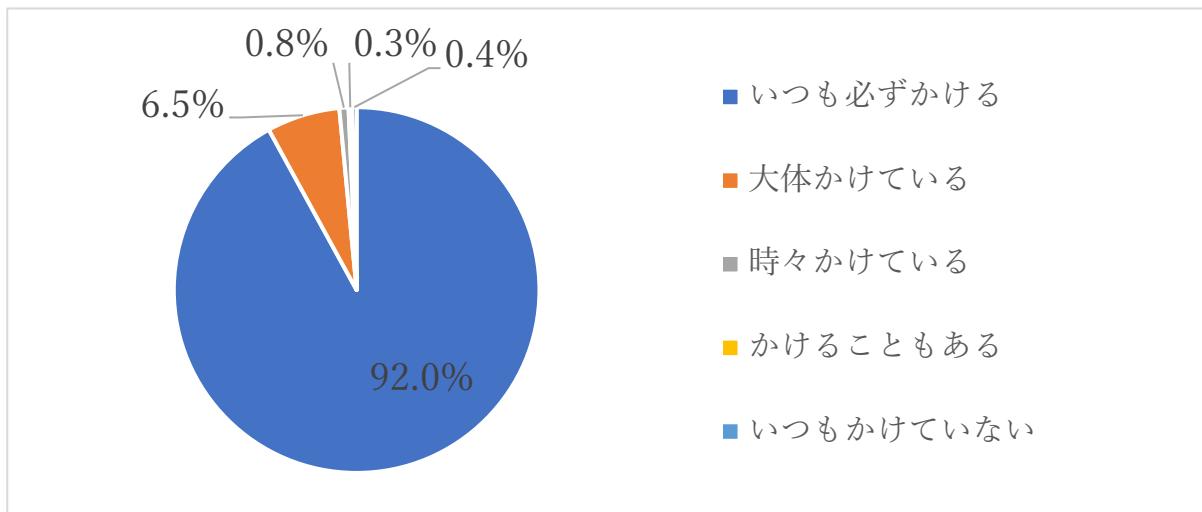
「不快に感じない」が7割以上であり、自らの姿が撮影・記録されることが気にならない人が多数を占めている。

オ 集合住宅への防犯カメラ設置を推進すべきだと思いますか。



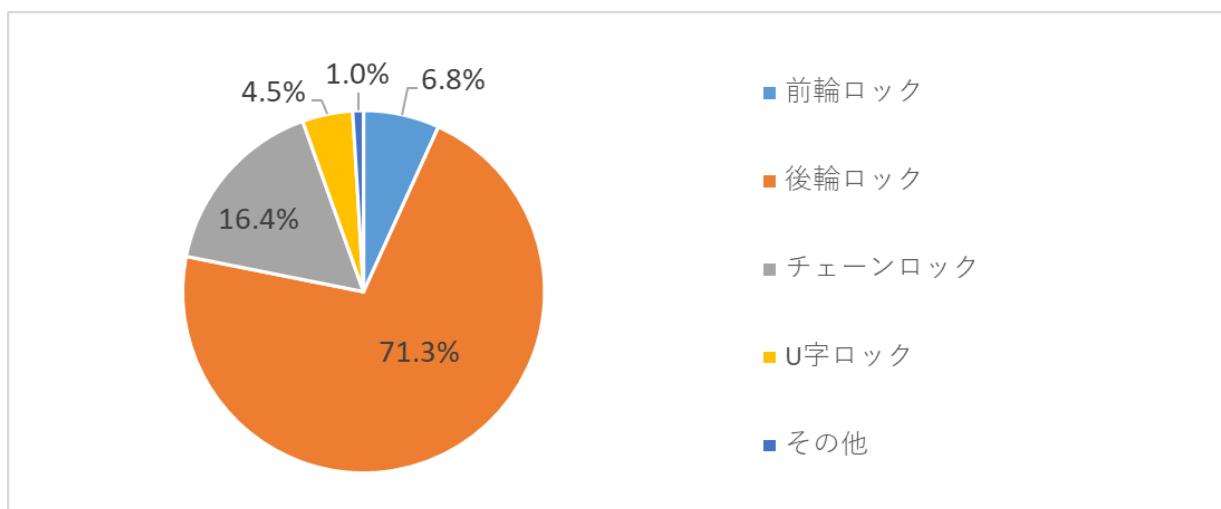
「思う」、「どちらかと言えば思う」が9割を超えており、防犯カメラの必要性を感じていることがわかる。

カ 自転車を駐輪する際に鍵をかけていますか。



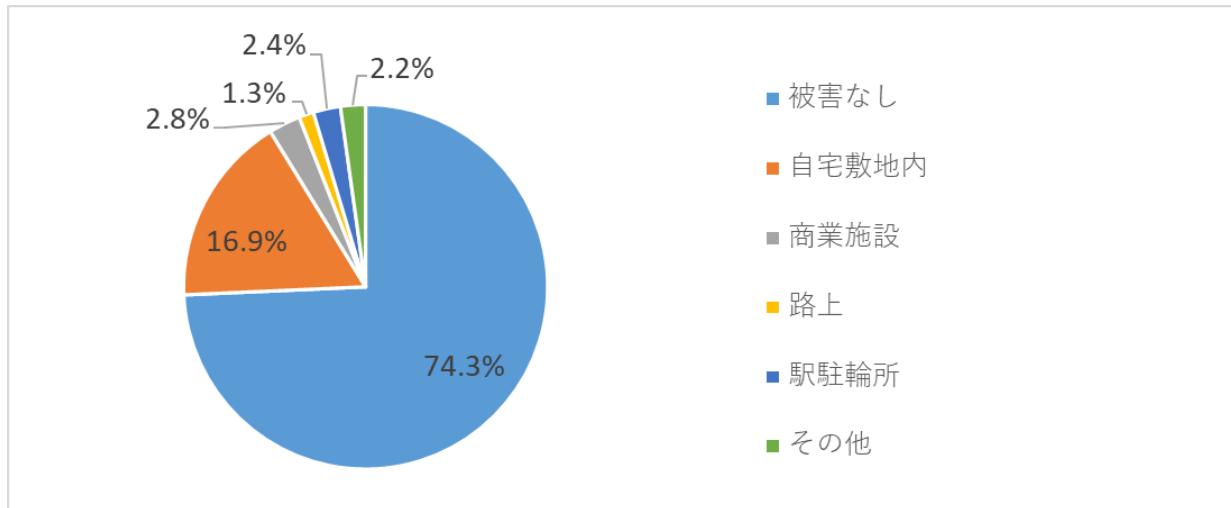
「いつも必ずかける」が9割を超えており、自転車の鍵かけに対する意識が高いことが窺える。

キ 自転車にかけている鍵はどのような種類ですか。



「後輪ロック」が7割を超えており、また本設問は複数回答可としており15%程度の方が複数施錠している。

ク 過去 5 年間の間に自転車盗難被害に遭いましたか。



4 人に 1 人が過去 5 年に自転車盗難被害に遭っており、その内の 7 割近くが自宅敷地内から盗まれていることがわかる。

ケ その他ご意見（抜粋）

«肯定的な意見»

- ・ 怪しい人を見かけなくなった。また、ゴミの不法投棄が減った。
- ・ 夜間、敷地内が静かになり治安がよくなつたように思う
- ・ カメラがあると安心して生活できる。
- ・ 設置した分だけ効果がある。駐輪場以外にもつけてほしい。

«否定的な意見»

- ・ 効果を感じない。前と変わつた様子はない。
- ・ (防犯カメラ設置に) あまり関心がなく必要を感じない。
- ・ データ管理に不安を感じる。あまり気持ちのよいものではない。
- ・ 設置に反対。税金の使い方を考えるべき。

«どちらでもない»

- ・ ランニングコストが気になる。
- ・ 設置には費用対効果を考える必要がある。

4 実験結果

(1) カメラの活用事例

ア 警察から情報提供を求められ提供したところ、犯人の検挙に繋がった（複数報告あり）。

イ 資源ゴミや廃棄家電盗難の状況確認に使用した。

(2) 総評（効果について）

自転車盗難被害は前年比較で1件減少と前年とあまり変わらない結果であった。また、被害の総件数は11件減少させることができた。

アンケートでは「自転車盗難に効果がある」と感じつつも、その効果は「住民の安心感向上」が多く占め、「設置を推進すべき」とする意見が9割を超えており、防犯カメラの必要性が感じられた。

以上のことから、防犯カメラの設置には自転車盗難に特別の効果があるとはいえないものの、総合的な防犯対策や体感治安の改善の手法として一定の効果があると言える。

5 今後の予定

本事業は費用対効果が小さく、全ての集合住宅に防犯カメラを設置するには多額の費用が必要となるなど、事業化は困難である。

自転車盗難被害減少に向け、街頭防犯カメラ設置補助事業や住まいの防犯対策補助事業と併せ、パトロールやキャンペーンの実施、自転車施錠の啓発を継続するほか更なる対策を検討していく。

今回の実験にご協力いただきました皆さんに厚く御礼申し上げます

江戸川区危機管理部

地域防犯防災課